

評価細目の第三者評価結果

[風の子保育園・風の子ベビーホーム]

児童福祉分野の評価基準

判断基準項目	評価結果
評価対象 福祉サービスの基本方針と組織	
- 1 理念・基本方針	
- 1 -(1) 理念、基本方針が確立されている。	
- 1 -(1)- 理念が明文化されている。	a
- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
- 1 -(2) 理念や基本方針が周知されている。	
- 1 -(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
- 1 -(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
<p>法人の理念及び保育の理念、保育方針を明文化し、ホームページやパンフレットに掲載して広報しています。職員には、新規採用時をはじめ、職員研修、職員会議等の機会に周知徹底を図っています。保護者に対しては、日頃から、公開しているホームページの閲覧を奨励しており、また、入園時や保護者懇談会の際に理念や基本方針をも記載した資料を配付して説明し、周知しています。</p>	
- 2 計画の策定	
- 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
- 2 -(1)- 中・長期計画が策定されている。	a
- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
- 2 -(2) 計画が適切に策定されている。	
- 2 -(2)- 計画の策定が組織的に行われている。	a
- 2 -(2)- 計画が職員や利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
<p>各クラスの代表職員を通して職員の意見を聞いた上で、中・長期計画を策定し、これを踏まえて事業計画が策定されています。事業計画については、職員に文書を配付、説明して周知しています。また、ホームページにも掲載、公開しており、保護者には、ホームページの閲覧を奨励して周知を図っています。</p>	

- 3 管理者の責任とリーダーシップ		
- 3 -(1) 管理者の責任が明確にされている。		
- 3 -(1)-	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
- 3 -(1)-	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a
- 3 -(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
- 3 -(2)-	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a
- 3 -(2)-	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a

評価機関コメント		
<p>園長は、自らの役割と責任を業務分担表上で明らかにし、職員に対して表明しています。園長は、遵守すべき法令等の情報を行政機関、関係団体等の各方面から積極的に収集して、その把握に努めています。また、保育サービスの質の向上や業務の効率化等にも意欲を持って取り組んでおり、リーダーシップを発揮しています。</p>		

- 1 経営状況の把握		
- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
- 1 -(1)-	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
- 1 -(1)-	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
- 1 -(1)-	外部監査が実施されている。	c

評価機関コメント		
<p>園長は、福祉関係全国誌の購読、関係各種会議、研究会に意欲的に出席する等して、経営環境の動向、ニーズの把握に努めています。また、経営状況の分析をも行い、明らかになった課題については、事業計画に反映するとともに職員にも周知しています。</p> <p>今後は、公認会計士等による外部監査を実施するとともにその結果を経営の改善に活用することが望まれます。</p>		

- 2 人材の確保・養成		
- 2 -(1) 人事管理の体制が整備されている。		
- 2 -(1)-	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
- 2 -(1)-	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
- 2 -(2)-	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
- 2 -(2)-	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
- 2 -(3)-	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
- 2 -(3)-	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a
- 2 -(3)-	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
- 2 -(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
- 2 -(4)-	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
- 2 -(4)-	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a

評価機関コメント		
<p>個別面談等を通じて、職員の意向や就業状況をよく把握されています。また、法人全体で職員互助会を設け、懇親旅行、保養施設の利用など多様な事業を行っており、職員の福利厚生に努めています。</p> <p>実習生の受け入れは、窓口担当者を決め、意義・方針を明確にした業務マニュアルを作成、職員に周知し、積極的に取り組んでいます。</p> <p>職員の教育・研修は、外部派遣研修に合わせて、法人内の研修機関が新任研修をはじめ経験年数別や課題別、また、個人別課題にも配慮されて研修計画を立て、積極的に実施しています。人事考課については考課基準を設けていますが、今後は、定期的に実施されることが求められます。</p>		

- 3 安全管理		
- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
- 3 -(1)-	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
- 3 -(1)-	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b

評価機関コメント		
<p>緊急時の対応については、子どもの安全確保を目的とした業務マニュアルを策定し、園長を中心に責任と役割を明確にした管理体制が整備されており、職員にも周知しています。 今後は、事故防止のチェックリストの活用等により、安全確保策について、定期的に評価、見直しを行うことが望まれます。</p>		

- 4 地域との交流と連携		
- 4 -(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
- 4 -(1)-	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
- 4 -(1)-	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
- 4 -(1)-	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
- 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。		
- 4 -(2)-	必要な社会資源を明確にしている。	b
- 4 -(2)-	関係機関等との連携が適切に行われている。	a
- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
- 4 -(3)-	地域の福祉ニーズを把握している。	a
- 4 -(3)-	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

評価機関コメント		
<p>法人内の高齢者施設の訪問、小学校の学習参観など子どもと地域との交流を積極的に進めています。 園長と職員は地域の関係機関・団体と連携し、子育てニーズの把握に努め、育児相談や保育等の専門的な講習会などを実施し、ホームページ、掲示板などで情報提供をしています。 今後は、「必要な社会資源」となる関係機関・団体をリスト化する等して職員間での情報の共有を図ることが望まれます。</p>		

- 1 利用者本位の福祉サービス		
- 1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
- 1-(1)-	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
- 1-(1)-	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
- 1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。		
- 1-(2)-	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	a
- 1-(2)-	利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	a
- 1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
- 1-(3)-	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
- 1-(3)-	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
- 1-(3)-	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

評価機関コメント

職員行動規範、職員倫理綱領を定め、子どもの尊重やプライバシー保護を明示しており、職員には、研修会等を通じて周知徹底しています。
 いつでも要望・意見等を園に伝えることができるように「ふれあいノート」やメールの利用、保護者との個別相談、懇談会、保育参加の機会を設け、保護者の意向については迅速に対応しています。
 苦情解決については、苦情解決規程を整備し、苦情内容等をホームページに掲載して保護者等に周知を図っています。

- 2 サービスの質の確保		
- 2-(1) 質の上昇に向けた取り組みが組織的に行われている。		
- 2-(1)-	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b
- 2-(1)-	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
- 2-(1)-	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
- 2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
- 2-(2)-	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
- 2-(2)-	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
- 2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
- 2-(3)-	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
- 2-(3)-	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
- 2-(3)-	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

評価機関コメント

子どもの個人記録は、よく整備され、職員に周知されるとともに適切に管理されています。個別のケースに対する保育や援助について、ケースの内容、対応などの情報が、職員間で共有化されています。

標準的な実施方法については、一定の保育水準を保つために職員会議で検討し、配慮すべき事項等を指導計画に盛り込み、保育につなげています。

保育の質の向上に向けては、各種会議等を通じ、課題を明確にして取り組まれています。今後、自己評価や第三者評価等などの活用により、さらに評価体制を整備されることが期待されます。

- 3 サービスの開始・継続

- 3 -(1) サービス提供の開始が適切に行われている。

- 3 -(1)-	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
- 3 -(1)-	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a

- 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。

- 3 -(2)-	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b
-----------	---	---

評価機関コメント

入園希望者には、ホームページの公開やパンフレットの配布を行い、また、希望により見学を受け入れており、わかりやすく説明しています。入園前には、保育方針や内容、料金など詳しく記載した入園のしおりを保護者に配付し、説明した上で、同意を得ています。

今後は、保育終了後の相談方法等を明記した文書を配付することが望まれます。

- 4 サービス実施計画の策定

- 4 -(1) 利用者のアセスメントが行われている。

- 4 -(1)-	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	b
- 4 -(1)-	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a

- 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。

- 4 -(2)-	サービス実施計画を適切に策定している。	a
- 4 -(2)-	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

評価機関コメント

子どもの状況は、統一様式の個人記録票により記録し、課題も明記されており、保育日誌にも日々の様子が記載されています。また、子ども一人ひとりの状況に基づき毎月の指導計画を立案しています。

子どもの状況については把握されていますが、今後は評価や見直しの手順を明確にし、実施することが望まれます。

児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準) 〔風の子保育園・風の子ベビーホーム〕

判 断 基 準 項 目		評価結果
A - 1 子どもの発達援助		
1 -(1) 発達援助の基本		
A - 1 -(1)-	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	b
A - 1 -(1)-	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
1 -(2) 健康管理・食事		
A - 1 -(2)-	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A - 1 -(2)-	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A - 1 -(2)-	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A - 1 -(2)-	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
A - 1 -(2)-	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A - 1 -(2)-	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
A - 1 -(2)-	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A - 1 -(2)-	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
1 -(3) 保育環境		
A - 1 -(3)-	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
A - 1 -(3)-	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a
1 -(4) 保育内容		
A - 1 -(4)-	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
A - 1 -(4)-	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
A - 1 -(4)-	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
A - 1 -(4)-	身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	a
A - 1 -(4)-	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a
A - 1 -(4)-	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
A - 1 -(4)-	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
A - 1 -(4)-	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
A - 1 -(4)-	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A - 1 -(4)-	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A - 1 -(4)-	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

評価機関コメント

園の理念や方針に基づき、3歳から5歳の縦割り保育が実践されています。縦割りおよび年齢別の指導計画のもと、自由にあそびを選べるようなコーナーや室内の環境整備を工夫し、落ち着いた雰囲気の中でかかわりあう、きめ細やかな保育が展開されています。また、アートセラピスト・音楽療法士などの講師を招き子ども達の経験の場をひろげています。

食事については、新鮮な旬の野菜、添加物などにも考慮した食材や日本食の献立を意識的に取り入れるなど工夫が見られ、フリールーム（レストラン）では食事を楽しんだり、自然体験施設で収穫された野菜を取り入れるなど工夫がされています。保育室は安全面はもとより採光、換気、通風、湿度・温度計の設置などに配慮され、屋内外とも清潔に保たれています。

保育計画については、地域の実態や保護者の意向等を考慮し、作成されることが望まれます。

A-2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

A-2-(1)-	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
A-2-(1)-	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
A-2-(1)-	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
A-2-(1)-	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
A-2-(1)-	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a

2-(2) 一時保育

A-2-(2)-	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	/
----------	---	---

評価機関コメント

送迎時の対話等で日常的な情報交換に努めており、その日の様子や連絡事項については掲示板が有効に利用されています。乳児の個人日誌（連絡帳）の記載、「ふれあいノート」により、保育や子育ての悩み、相談、苦情などの情報交換をしています。また、家庭訪問や懇談会、保育参観、保育参加を実施し、子育てについて共通認識や子育て支援に努め、悩みや苦情については迅速に対応しています。

虐待防止については、業務マニュアルを整備し、職員に周知を図り、虐待の早期発見に努めています。

A-3 安全・事故防止

3-(1) 安全・事故防止

A-3-(1)-	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	c
A-3-(1)-	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a
A-3-(1)-	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	b
A-3-(1)-	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
A-3-(1)-	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a

評価機関コメント

食中毒発生時や事故、災害別対応の業務マニュアルが作成され、職員に周知されています。今後は、未然防止の観点から職員の参画のもとで、収集した事故事例の発生要因の分析を行い、事故防止チェックリスト等の活用により安全対策に取り組むことが望まれます。厨房の衛生管理については、自己管理表やチェックシートにより日々点検されていますが、衛生管理を目的としたマニュアルの作成が望まれます。

A-4 子どもの発達・生活援助

4-(1) 子どもの発達・生活援助

A-4-(1)-	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	a
----------	---	---

評価機関コメント

職員行動規範に、体罰等子どもへの不適切な行為は行わない旨、明記され、全職員に周知徹底されており、園長等が防止と早期発見に努めています。